

大阪府勤労者山岳連盟創立50周年記念

## ネパール エベレスト・パノラマトレッキングの旅

山の会カラクルン 中村光江



2016年10月31日(月)朝 ホテル・エベレスト・ビュー(標高3,880m)の屋上にて

後方にチョラツエ・エベレスト・ローツェ・アマダブラムが見えます。

大阪勤労者山岳連盟創立50周年、誠におめでとうございます。それを記念して、ネパール エベレスト・パノラマトレッキングの企画が2016年10月28日(金)～11月5日(土)にあり、それに参加させていただきました。参加者は16名です。

10月28日(金) 9:30 関空出発。ソウルのインチョン国際空港で乗り継いで17:50にカトマンズに着く。カトマンズに近づきつつある飛行機の窓から、白い雲海の遥か彼方に小さな白い山がいくつかぼっかりと浮かんでいるのが見えました。エベレスト、マカルー、カンチェンジュンガだそうです。これからの旅に心躍るものを感じました。

10月29日(土) 快晴。荷物は、前夜に現地の旅行社から借りたダッフルバッグにレンタルの寝袋や必要な物を、マイザックにも必要な物をつめておきました。これから向かうルクラ空港は飛行機が停まるのは4機だけなので、カトマンズの国内空港で

順番待ち。9:50頃になってやっと搭乗して出発。山の間を縫って40分ほど飛んでいるとルクラ空港に到着。ルクラ村にはエベレスト街道の起点があります。(標高2,840m) カフェで休憩、昼食。スタッフやポーター、コックたちと交流。ダッフルバックはポーターに運んでもらって、自分たちはマイザックを背負ってA班、B班とわかれてトレッキング開始。私はB班です。エベレストベースキャンプのあるクンプ氷河から流れてくるドゥード・コシ川沿いの路をゆるやかに登り下りしてパグディン(標高2,610m)に着いて休憩。また歩き始めてジョルサレへ。(標高2,804m) そのロッジに宿泊。今日からネパールのティハール(お祭り)が始まり、今日は犬の日といって、路で遭う犬たちは、毛並みが艶やかで、お祭りだからといってマリーゴールドの花で首を飾られていました。荷物を背負った牛(ゾッキョ)、鶏、馬など色々な動物たちと遭いました。また、巨大なマニ(お経)が刻まれたマニ石やマニ車がところどころにありました。

10月30日(日)快晴。朝5:30に起床。ロッジの上にクーンピラ山が見えました。(なんとなく日本の金毘羅を思い出しました。)朝食後、8:00に出発。ナムチェ(標高3,440m)まで歩いて行く。ナムチェは山腹に沿って家などが建ち並んでいて美しい村です。レストランカフェで昼食後、13:00にナムチェを出発。15:00を過ぎた頃、風が強く吹いてきて、霧が出てきました。ホテル・エベレスト・ビュー(標高3,880m)に着いて、エベレストなどのヒマラヤがよく見えるロビーに行っただけですが、あたり一面真っ白い霧。。明日には晴れて見えるかなと希望を持って、自分のお部屋に入り、トレッキングの日課となったお湯の入った洗面器で顔や身体を拭いて着替えたりしていると、幸運なことに、霧が徐々に晴れてきてエベレスト、ローツェ、アマダブラムが夕日に赤く染まってきれいな姿をあらわしてきました。写真を撮ったり、同室の方は絵を描いたりして、美しい山をしばらくながめていました。

10月31日(月)快晴。朝5:30に起床。6:00にホテルの屋上へ日の出を見に行きました。朝の冷たい空気が新鮮で、周りは高い白い山に囲まれて、壮大なながめで、しばらくただずんでいました。朝食後、近くのクムジュン村へ散策。クムジュン村から、美しいJのカーブがあるアマダブラムがそびえたっているのが見えます。「母(エベレスト)の首飾り」と言われているそうです。お昼頃、シャンボチェ(標高3,770m)のロッジに到着。昼食後、絵を描いたり、散策などしたりして宿泊。

11月1日(火)快晴。パグディンまで来た路を歩いて戻ります。11月2日(水)の14:00頃ルクラに着いてトレッキングの旅が終了。それをねぎらうかのように、ルクラの村ではティハール(お祭り)でにぎわっていました。11月3日(木)ルクラ空港を出発して、カトマンズのホテルに無事に予定通りに到着。観光。11月4日(金)観光。夕方、カトマンズの国際空港を後にして、11月5日(土)の朝、帰国。

この旅にあたり、林孝治海外委員長、林陽子さん、旅の仲間、マハビールさん、ビルさん、パルカスさん、ポーター、コックたちのお陰で楽しくて有意義な日々を過ごさせていただきました。心から感謝申し上げます。(参考文献:地球の歩き方・ネパール)